

声をあげれば
政治は必ず変えられる



よねくら

はるな

29歳

日本共産党 東京都議会議員

1988年宮崎県えびの市生まれ。中央大学卒業。就職難・学費負担軽減を求め活動。25歳で都議初当選。環境・建設委員を歴任し、現在公営企業委員。

新としま

2017年4月号外 発行／新としま社 TEL3554-8090
日本共産党豊島地区委員会の見解を紹介します。

<http://haruyone.com/>



ママ、パパといっしょに訴え、区内で 認可保育園が1800人分も増えました



「安心して子どもをあずけられる認可保育園をふやして」のママ、パパの声にこたえ、都有地、国有地の活用などを歴代知事にくり返し提案。私が都議になってから3年間で26園、1801人分増えました。一刻も早い待機児ゼロの実現に頑張ります。

私は米倉さんに期待します

0歳児でも待機児となり、無認可に通わせ、昨年やっと1歳児クラスに入れました。共産党の議会での奮闘が認可保育園増設の力になっていますが、まだまだ足りません。希望する人が入れるよう米倉さんに期待します。

(池袋1丁目在住 津田二郎さん)

転落事故の防止へ

池袋駅(西武・東武)にホームドア設置

目の見えない方々といっしょに現場を歩いて、「ああ、ここは危ない」と一つひとつ確かめて歩いた日々。「乗降客数世界2位」の池袋駅に西武でも東武でもホームドアができることになりました。

私は米倉さんに期待します

私たちにとって、ホームドアのない駅は、欄干のない橋と同じなんです。いっしょに歩いて、誰もが安心して歩ける街をつくっていく、米倉さんは頼もしいパートナーです。

(駒込在住 視覚障害者 山城完治さん)



視覚障害のある方と実際にホームを歩く米倉都議

10年間増えなかった 特養ホームが区内に2カ所できました

「このままでは二人で倒れてしまう」と夫を介護する80歳の女性から訴えられました。こうした声にこたえ、特養ホームが増えるよう新しい仕組みづくりを提案してきました。

区内でも3年間2カ所、194人分の特養ホームが増えました。さらにはがんばります。



みんなに 励まされ都政が 動きはじめました!

ひと部屋分の窓からでも使える 省エネルギーフォームを、 との提案が実現

原発に依存しない省エネ社会をめざし、再生可能エネルギーの問題にもとりくんでいます。



再生可能エネルギーの取り組みを視察(山梨県都留市)

都議1期目、駆け抜けた4年間

米倉 春奈

25歳で都議会議員に初当選した米倉春奈さん。都議会最年少議員としても注目された4年間の振り返り。



学ぶ権利をまもりたい
—候補者時代の悔しい思い

母子家庭の大学生から「母親が死に弟の進学のために退学を考えている」と相談がありました。いまの公的支援では借金が前提であり、彼は結局退学の道を選ぶしかありませんでした。

お金の心配なく学べる社会にしたい！必ず都議会に行って風穴を開けたいと決意した瞬間でした。

誰もが輝く社会へ 一力を入れた質問

「女の子にお金をかけても無意味」と学力があっても進学させてもらえない友人がいたり、まわりには男女の格差があるを感じながら育ちました。誰にでも可能性があるのに不平等だと思っていました。働く女性の半分は非正規雇用。自立することも大変ですし、孤立しがちなシングルマザーの子育てには支援が絶対必要です。

誰もが人間らしく生きていける状況をつくりたい。東京都には見えない困難を掘り起こす努力をすべきだと迫っています。

質問に向かう姿勢 一成長した4年間

もともとはプレッシャーに弱いタイプ。質問前は「議会に都民の声を届ける大切な機会」という責任に押し潰されそうになり、泣きながら質問準備をしたこともあり。巣鴨・駒込地域の特定整備路線に関する質問前は、緊張で頭が真っ白になりました。直前に住民の方々から聞き取りした録音を聴き、「住民の怒りと不安の声を必ず議会に届ける！」とやる気がみなぎりました。

周囲の反応は？

「共産党の人」というのが知られるようになり、街の人からも共産党への疑問や質問を投げかけられることが多くなりました。聞かれたら党の政策を紹介しています。子育てと仕事の両立に悩むお母さんには、「あなたのせいではない。社会を変えよう」と伝えたら「話せてよかった」と喜ばれました。

政治を希望へ 一ふたたび都政にチャレンジ

「声をあげれば、政治は必ず変えられる」を実感した4年間でした。困難な状況を都民とともに切り開き、政治を希望に変えたいです。

誰もが人間らしく生きる権利を実現する力は、一人ひとりのなかにあります。声を上げづらい社会だけど、変えることは必ずできます。私はその力を勇気づけ、社会を変える原動力の一つになりたいです。

まずは給付制奨学金制度の実現へ。そのためにはともに声をあげるみなさんの力が必要です。



はるなストーリー

「貧困なくしたい」の原点



宮崎県の豊かな大地で育つ

故郷は、豚肉や牛肉が名産の宮崎県えびの市です。昔住んでいた家では屋根裏にムササビが。毎晩軒先からびゅっと飛んで「運動会」。田畑と自然に囲まれて育ちました。



カンボジア訪問で貧困の現実を体験

中学時代

カンボジアの教育支援をする、父のNPO活動に同行し、ごみの山で生活している子どもたちに会いました。ある女の子が「勉強が楽しい。先生になりたい」と話してくれましたが、貧困から抜け出すことは困難だと状況が物語っていました。夢があっても、努力しても、自分の力だけではどうにもできない社会を変えたい、世界の貧困や格差をなくしたい、この思いで大学へ進学しました。



イスラエルとパレスチナの国際交流に参加

学生時代



両地域の学生の交流の場に参加。徐々に互いを理解する姿に、武力ではなく話し合いこそが平和への道で憲法9条は世界の宝だと確信しました。

社会を変えたい 一日本共産党に

「日本でも貧困が広がっている。日本や世界の一人一人が安心して暮らせるためにがんばる人が増えないといけない。それをやっているのが共産党だ」と呼びかけられ、入党を決めました。19歳のときでした。

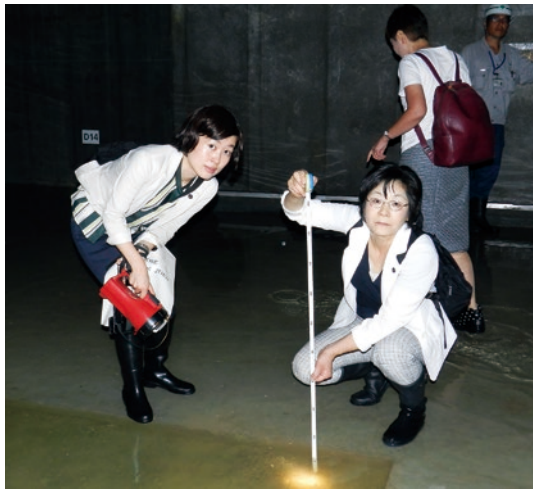
大学卒業後は「社会を変えていきたい」と思い、共産党の専従職員になる道を選びました。

25歳で都議会議員初当選。声を届けるため、これからも駆け抜けます。





豊洲の闇を**あばく** ヤミ 日本共産党 米倉春奈



豊洲市場予定地の地下空間を調べる米倉都議(左)

独自の調査で 豊洲の闇を 都政の大問題に

盛り土がない
ことを発見

昨年9月7日、独自調査で豊洲新市場の「地下空間」をつきとめ、ずさんな土壌汚染対策を告発したことが都政を大きく動かしました。その後も百条委員会で石原元知事の関与を追及しています。

都議会議員の税金節約 共産党の提案実る

共産党は8人から17人に増えた議席の力をフル活用して、猪瀬、舛添知事の「政治とカネ」を徹底追及し辞職に追い込みました。議員報酬の削減や費用弁償(日当)の廃止などの都議会改革でも、共産党の一貫した主張が実り実現しました。さらに

再調査でも100倍の ベンゼン検出 豊洲移転は中止しかない

3月19日に公表された地下水再調査で環境基準の100倍のベンゼンが検出。東京ガス工場跡地の豊洲予定地の土壌汚染が今なお深刻で市場として不適格であることが確定。米倉都議らは移転中止と築地市場の再整備を小池知事に申し入れました。

都民の安全が第一

豊洲移転中止、百条委員会設置 の先頭で活躍した米倉春奈さん

築地市場問題について、日本共産党は都民・国民の安全を守る立場から移転中止を求めてきました。これに反対する自民党や公明党は世論に押され、日本共産党の主張する百条委員会の設置を認めざる得ませんでした。この過程で米倉春奈さんの素晴らしい活動がありました。

元フェリス女学院大学学長
本間 慎(長崎在住 環境学者)

16年前から 豊洲の闇を徹底追及 してきた共産党

食の安全が
最優先

共産党は、石原元知事が豊洲移転を決めた2001年から、予定地の汚染実態や汚染対策のゴマカシ、建設談合疑惑などを一貫してあばき、現在地での再整備を求めてきた歴史があります。

豊洲の闇を一掃するには米倉都議がこれからも必要です。



政務活動費の新年会費や飲食への支出の禁止などの実現へがんばります。政務活動費は都民の税金なので共産党は飲食には使っていません。

豊島区選出都議の政務活動費を使った新年会などへの出席回数

自民党	公明党	共産党
88回	74回	0回

(『朝日新聞』(2016年8月11日付)より作成「新年会」「賀詞交歓会」の合計)



29歳、女性の都議だから できること、やりたいこと



米倉都議は、声を上げられずにあきらめてしまう人に多く出会
い、ともに涙も流してきました。だからこそ、政治は弱い人にこそ寄り添
わなくてはいけないという信念のもと、この4年間、これまで都政で光の当たらなかつた問題を多く
とりあげています。これからも、同世代の願いを届けつけます。

若い女性の
貧困解決

低賃金、不安定雇用

米倉都議は、若い女性の貧困実態やJK
ビジネスを都議会で初めてとりあげました。提
案した支援策の実現へがんばります。

ブラック・非正規をなくす

若者を使い捨てにする働かせ方は異常
です。本人と日本の未来を奪うもので「カロ
シ」とともに、東京から根絶します。

若者や子育て世代への家賃補助

家賃を払うと生活費をまかなうのも大変で
す。非正規やシングルマザーのダブルワーク
も広がっています。家賃の高い東京こそ家賃
補助が必要です。

世界一高い学費負担を減らす

米倉都議自身が大学卒業時に500万円
のローンを背負いました。くり返し提案した首
都大学の授業料減免が拡充しました。学費
の半減、さらに無償化を。

東京都には7兆円の財源があります ほんの一部を使えば実現

都財政の数%の使い方を变えるだけ
で、右のように都民の願いや不安は解決
に向かいます。



- | | | |
|---|--------------------------|----------|
| 1 | 公立保育所増設への
整備費補助など緊急対策 | 20
億円 |
| 2 | 大学生向けの返済不要の
奨学金の新設 | 56
億円 |
| 3 | 若者・子育て世代の
家賃補助の新設 | 12
億円 |
| 4 | 国民健康保険料(税)の
均等割1割引き下げ | 70
億円 |

日本共産党都議団の予算組み替え提案(2016年度)より